



天王森通信

2025 年 10.11.12 月号 No.128 発行 天王森泉公園運営委員会

写真【公園の田んぼグループの田んぼに実った稲穂と案山子「いっずん」(左)と「ラーメンマン」(右)】

秋を迎えて

運営委員会会長 角本 等

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われ、やっと秋の訪れを感じる頃となりました。今年のお彼岸の中日、秋分の日は9月23日になり、暑い夏から涼しい秋へと変わり始め、昼の長さより夜の長さが少しずつ長くなっていきます。

彼岸と言えば、今、公園の周りの田んぼのあぜに彼岸花がたくさん咲き始めました。その美しさに皆さん写真を撮られています。夕方になると秋の虫の声が聞こえてきます。公園の田んぼグループがもち米と黒米(古代米)を作っていますが、黒米の稲刈りが終わりました。この様に、秋を感じることが多くなって来ました。「小さい秋みつけた」の曲名のように、小さい秋を見つけてみませんか。

当公園では、野の花苑、くわくわ森、竹林等があり、来園されて、楽しい秋のひと時をお過ごしください。

[野の花苑] 花のパートナーは虫たち

暑い暑い夏が過ぎ、待ちに待った秋がやってきました。

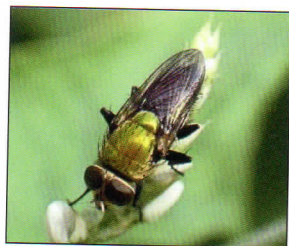
秋は花々が華やぐ季節。花々にとって虫たちは受粉を助けてくれる、なくてはならないパートナーです。

虫たちにとって花々は甘い蜜やおいしい花粉をくれる、なくてはならない存在です。

自然界にはこうやって種を超えて助け合いながら共に生きていく、絶妙で素晴らしい仕組みがあります。

私たち人間もその中の一つのはずですが…そのことを忘れてしまっていることが多いのではないかと思います。

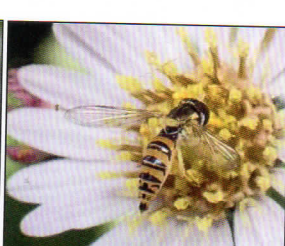
この秋、花々と虫たちの関係を眺め自然に包まれにいらしてみませんか? by 青い鳥



シャクチリソバにきた
ミドリバエ



カリガネソウの蜜を吸う
ホシホウジャク



ノコンギクにきた
ミナミヒメヒラタアブ



ノコンギクと
オオハナアブ・マルカメムシ



ノコンギクにきた
キゴシハナアブ♂♀



ノコンギクと
トリバガの仲間たち



ノコンギクと
ツマグロシボソハナアブ



ノアザミと
ツマグロヒョウモン♂

天王森泉公園行事カレンダー詳細
はホームページを参照ください。



「稲刈り体験」

10月4日(土) 参加予約
地域の保育園・幼稚園・
一般参加



「生き物調査観察会」

10月7日(火) 自由参加
モニタリング調査
毎月第1火曜日を予定
11月4日(火)12月2日(火)



「古民家ライブ」津軽三味線

10月12日(日) 参加予約
古民家を使って音楽文化
の体験ライブ



「新そばまつり」前売券販売

10月19日(日) 先着 40 食
そば打ち有志が奉仕する
新そばまつり



「天王森まつり」

11月9日(日) 自由参加
公園開園 28 周年行事
天王森鍋・焼芋・野菜直売



「野鳥観察会」

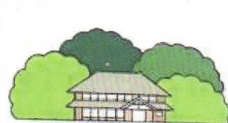
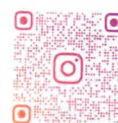
11月30日(日) 参加予約
田んぼ、森、水辺等に飛来
する秋の野鳥観察会



「天王森もちつき」

12月7日(日) 自由参加
田んぼグループが収穫したも
ち米収穫祭 もちパック販売

天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennoumori.net>



TENNOUMORI OFFICIAL

天王森泉公園

くわくわ森の現状

酷暑の夏を乗り越えたくわくわ森は、かつての緑が覆っている森ではありません。

雨不足で乾燥した森ですが、それよりも4年の間に170本近い樹木が伐採されました。

カシノナガキクイムシによる枯れた木と、オオミコブタケというキノコの菌による被害で危険な樹木を伐採したためです。

下の写真で左は2020年夏の写真、右が今年の9月の写真です。ベンチ脇の木陰を作っていたクヌギ、コナラは伐採され、太い切り株が残っています。



昨今、倒木による被害が増えているため、安全確保のための手入れをしています。

環境が大きく変わり、この森で暮らす植物や昆虫、野鳥たちにも変化が見られ数が減ってきています。

けれども私たちは諦めず、ドングリたちから新しい命を育て新生くわくわ森を育てていくつもりです。

時間はかかりますが、生き物たちが元気に暮らせる森を取り戻しましょう。 保全管理 山本

田んぼ、穰(みの)りのシーズン到来!

天王森公園の、田んぼグループは広さ約 1,200 m² の田んぼで「もち米」と「黒米(古代米)」作りを行っており、今年も収穫シーズンとなりました。

まずは、9月20日に毎年田植えから参加いただいている「鳩の森OBファミリー」の8家族の親子たちで収穫が早い「黒米(古代米)」の稲刈りを行いました。刈った稲は束ねて干す「はざかけ」としました。はざかけ用には、天王森の竹林より間伐した竹(長くて重い...)をえっちらおっちら運んでくるのですが、こんな大変な作業も皆でヒーヒー言いながら、でもわいわい楽しくやれました!

そして、10月4日は「稲刈り体験」の日です。天王森ボランティアで制作した案山子の「いっずん」が見守るなかの「もち米」の稲刈りイベントになります。参加予定者は、田植え体験に参加された方が多く収穫作業は感無量...にぎやかになる事と思います!

刈った稲は、天日干し→脱穀→粳摺り→精米...と作業し、もち米が完成します。もちろん、12月の「天王森餅つき」の材となります(黒米は玄米のまま販売)。そして、シーズンオフには、田んぼのあぜや水路の補修作業等も行い、次シーズンに備えます。作業詳細は、田んぼ現地及びホームページも覗いてみてください。 田んぼ G 水越 【稲刈りの様子】➡

竹林

木六竹八=旧暦の8月(木は6月)を過ぎてから切れば役に立つという意味。竹は水揚げ止まる秋口から冬迄の期間が伐採に最適と言われています。



竹は繁殖力が強く環境への影響を考慮し適正な竹林の維持管理を目指した活動を継承しています。

10月以降伐採、来春の筍が楽しみな時節の作業です。

来春はザーサイ作りに挑戦?希望者は事務局にお尋ね下さい。 by 大西

そば同好会

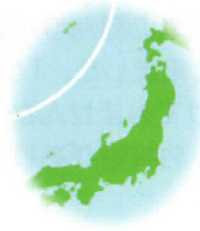
そばの日ご存じでしたか?

毎月末日がそばの日、年末31日は年越しそばの日!

この風習が今日、文化継承の一端とし、受け継がれている。

そば同好会では蕎麦街道手打そばの旅をしています。

自宅に居ながら、手前蕎麦で、そば産地を旅する同好会です by 大西



主な行事のご報告

■「夜の虫ライトトラップ」7月20日(日)
7家族、総勢26名が参加。光に集まってくる虫たちをじっくり観察。カブトムシ、クワガタ等も観察。

■「水辺で遊ぼう生き物観察会」8月3日(日)
今年は7家族20名が参加。水中の生き物を観察。

■「そば打ち体験」9月21日(日)参加者14名
皆さんの表情には達成感がにじんでいました。

天王森泉館利用案内

開館時間: 午前9時~午後5時

休館日: 毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)

年末・年始(12月29~1月3日)

問合せ先: 天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用: 利用日の2ヶ月前より申込受付

泉区のマスコットキャラクター「いっずん」の案山子

